

白井町長の 行政報告

=平成24年9月6日=

第三回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

財政関係

本年度の普通交付税の交付額は、七月二十四日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額二十九億四千六百七十八万六千円から基準財政収入額五億四千八百二十三万一千円を控除した二十三億九千八百五十五万五千円が交付額となり、前年度と比較し、三・七パーセント、八千四百五十七万七千円の増額となりました。

なりました。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成二十四年度に公表する健全化判断比率及び資金不足比率の報告を予定いたしております。

北海道新幹線関係

六月二十九日、国土交通省から北海道新幹線の新函館（仮称）・札幌間を含む未着工三区間の工事着工が認可されました。

八月二十五日には、工事着工セレモニーであります建設工事起工式が、鉄道・運輸機構、JR北海道、そして北海道の共催により行われ、羽田国土交通大臣や高橋北海道知事をはじめ、関係国会議員や道議会議員、沿線自治体、経済界など道内外からおよそ二百人の関係者の出席のもと、本町の駅横町有地に設置された式場で、鍬入れ式が挙行されました。

その後ファミリースポーツセンターに会場を移し、着工祝賀会が盛大に開催されました。

延伸区間の概ね中間に位置し、渡島と後志、あるいは胆振の地域との分岐点でもあります長万部町での起工式開催は、より広域に道民の気運を盛り上げていくことの一つの象徴でもありましたが、本町が全国から注目される絶好の機会ともなり、町民のみなさまをはじめ議員各位のご支援ご協力により成功裡に終えることができたことを、心より感謝申し上げます。

また、建設工事に際しての鉄道・運輸機構による自治体向け事業概要説明会が八月三日に役場庁舎で開催され、事

業の進め方等について説明がされております。

今後は、測量に関する地元説明会の開催が予定されており、その後、中心測量や新幹線と交差する道路等の設計協議などに入っていく予定となっておりますので、引き続き、新幹線を核としたまちづくりを進めるため、各種新幹線関連計画や事業の検討なども含め、新幹線関連施策を継続して進めて参ります。

企業誘致関係

今年度中の養豚事業開始をめざしているインターファーム株式会社は、この度、町の立会のもと、長万部漁業協同組合との間で農場事業により発生する排水からの漁場環境等を保全するため「環境保全協定」を締結いたしました。

今後は、農場本体の建設工事が九月中旬に着手する予定となっております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物であ



ります牧草の生育状況は、春先の低温や日照不足により生育が懸念されましたが、八月一日現在の生育状況調査では、一番牧草、二番牧草とも平年並みの収量となっております。

また、サイレージ用トウモロコシについては、七月中旬から好天に恵まれ、例年より若干早い生育状況となっております。

生乳の生産量は一月から七月まで約六千四百八十八トンを出荷し、前年に比べ一・二パーセントの増、乳代は、約四億九千万円で前年に比べ四・三パーセントの増となっております。

ます。

黒毛和牛の一月から七月までの販売頭数は百七十頭、販売金額は約六千八百七十三万円となっており、前年同期と比較して販売頭数で三十頭の減となっております。

販売金額は約六百九十二万円の減となり、中核的な畜産農家の離農が影響したものと考えられます。

漁業関係

漁業関係の一月から七月までの水揚げ実績は、約二十億



円と前年同期と比較し、約三億円ほど減少しておりますが、ホタテ貝の生産量は一万二千八百八十八トンで前年同期と比較し、約三千百三十六トン増えております。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、六月から投入した採苗機に昨年同様、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。

しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、函館水産試験場等関係機関と生育動向を注視して参ります。

また、長万部漁業協同組合が、昨年も町補助事業で実施したホタテ貝種苗緊急対策事業については、安定した種苗の確保を目的に、今年度もオホーツク海及び日本海からの健種苗を移入するため、事業費補助について本定例会に補正予算を提案いたしております。

マツカワの資源増大に取り組んでいる北海道栽培漁業振興公社は、えりも以西太平洋海域において、今年度も百万尾の放流を計画しており、こ

のうち長万部漁業協同組合では、四万尾の稚魚の配布を受け、九月末までに放流する予定であります。

近年、噴火湾海域で大量発生しているザラボヤ等の付着物は、本年も六月頃より長万部町海域でホタテ貝養殖桁へ付着しているのが確認されております。

函館水産試験場等関係機関が幼生発生量等の調査を行ったところ、付着時期及び付着量も例年並みとのことではあります。

今後、ザラボヤ等の成長による出荷作業効率の悪化や漁獲量の減少が懸念されており、本年も近隣町や各関係機関及び長万部漁業協同組合と連携し、ザラボヤ等の付着物対策を検討して参ります。

林業関係

町有林一般造林事業の下列事業が豊津地区で八月一日に、予定どおり完了しております。

森林農地整備センター分収造林事業の下列事業は、豊津地区及び国縫地区で、七月三十日に予定どおり完了してお

ります。

また、渡島総合振興局と今年度の事業追加について協議をしておりました共立地区の植栽・地拵え事業が追加決定されましたので、本定例会に補正予算を提案いたしております。

森林整備加速化・林業再生事業の対象事業であります林業専用道平里線開設事業は、測量設計委託業務が六月十五日に完了し、今年度は全工事延長一千九十一メートルのうち四百四十メートルの開設工事を、十一月三十日までの工期で、八月二十四日に着手しております。

長万部公園の隣接地に生活環境保全林として、整備されております町有林「とみのの森」は、北海道が事業主体として、老朽化が進んでいる一部施設の改修等を含む整備事業が最終年度となり、今年度は九月から管理歩道の整備や護岸工及び林相改良事業として、除間伐等を行う予定となっております。

また、道営事業で進めております森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、六月二十九日に着手しております。

商工観光労政関係

本町の観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、天候にも恵まれ、町内はもとより町外からのバスツアーなどの来場者も多く、過去最大の人出となり大盛況でありました。

特に、毛がにの販売や六店の参加による「かにめしサミット」の数量限定販売、毛がに激安販売、さらに、会場内で大鍋によりゆで上げた「浜ゆで毛がに販売」は、長蛇の列



となり好評でありましたが、訪れた観光客の前に売れ切れが続出したことから、毛がに等の確保については、今後、関係機関と検討をして参ります。

また「全日本毛がに早食い競争」には、町外から多くの参加者が集まり大変な盛り上がりとなりました。

緊急雇用創出推進事業で実施しております長万部町観光振興事業により、駅構内に移設した観光案内所では、観光客のみなさんへの町内観光地の情報提供、温泉の案内、商店や飲食店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに物産販売を行い、その結果、観光案内所を訪れる観光客は、四月から八月までに六千人を超える数となっております。

また、九月二十一日から二十四日までの四日間、札幌大通公園会場で開催される「さっぽろオータムフェスト二〇一二」では、本町の観光PRや特産品のプレゼンテーションを行い、販路拡大に向けた事業を実施する予定となっております。

合宿誘致事業は、長万部温泉利用協同組合が積極的に誘

致活動に取り組み、夏休み期間を中心に、中学・高校・大学の約八十の団体が、剣道・柔道・バスケットボール・弓道等多種目にわたり合宿を行い、延べ約二千九百人の方が宿泊されました。

建設事業

建築事業では、町営住宅神社下第一団地、第二団地外壁改修工事は、六月二十六日にそれぞれ完了しております。

その他、町営住宅等の修繕工事は、計画どおり発注して

おります。

学校関係では、学校給食センター施設修理工事は、七月二十五日に完了しております。

また、老人福祉センターの暖房配管取替工事と浴室床改修工事は、七月二十五日に、

旭浜生活館外壁外修繕工事は、八月一日にそれぞれ完了しております。

次に、土木事業では、今年の四月から町道の維持管理業務を長万部町建設協会と委託契約し、町道の補修作業及び草刈作業等を実施しております。

なお、町道維持管理業務は、当初予算を上回る見込みとなりますので、本定例会に補正予算を提案いたしております。町道静狩八号線道路補修工事は九月二十八日までの工期で施工中であり、その他、町道の舗装補修と側溝補修等は、計画どおりに実施しております。

公園事業では、国の社会資本整備総合交付金事業を活用し、老朽化が進む町内五箇所の公園を対象に、利用者の安全性確保や施設のライフサイクルコスト削減の観点から、公園施設の適切な修繕や計画

的な改築など、予防保全的管理に係る取り組みを推進することを目的とし、長万部町公園施設長寿命化計画策定業務を、平成二十五年三月十五日までの委託期間で発注しております。

公共下水道事業

下水道汚水管路清掃業務は、十一月三十日の工期で施工中であります。

また、下水道汚水管路勾配調整工事は、平成二十五年一月二十五日までの工期で施工中であります。

下水道水洗化率は、七月末現在、供用開始区域内人口四千二百四十四人のうち、水洗化人口三千百二十人で、七十三・五パーセントの水洗化率となっております。今後、快適な生活環境づくりに向け、水洗化の普及促進に努めて参ります。

ガス事業

ガス支管改良工事の第三工区(曙町)及び第四工区(大町)は、十月三十一日の工期で施工中であります。

水道事業および水道料金改定

国縫ポンプ場送水ポンプ取替工事及び残留塩素計設置工事は、九月二十八日の工期で施工中であります。

水道事業は、平成十年一月の料金改定以後、経営全般の効率化に努め、現在まで、現行料金で事業を進めて参りましたが、給水人口の減少等により収入の減収が続ぎ、大変厳しい経営状況となっております。

このような中、今後見込まれている設備機器等の更新費用を確保し、安全で安定した給水を維持し、更には、水道事業の健全な経営を図るため、本定例会に料金改定に伴う条例の一部改正を提案いたしております。



教育関係

国縫小学校の統廃合については、第二回町議会定例会の一般質問において、長万部小学校への区域外通学希望や今後児童数の減少が続くことから、望ましい教育環境での教育の必要性を考慮し、統合に対する保護者との話し合いを行い、不安の解消などに努め、平成二十五年三月末をもって、長万部小学校に統合したい旨を答弁いたしました。

しかし、その後、数回にわたり保護者との話し合いを重ね



ねましたが、現段階では賛同が得られないことから、平成二十五年三月末での統合は難しいと判断いたしました。

しかしながら、児童数の推移などを勘案し、望ましい環境での教育の必要性を考え、今後も保護者との話し合いを継続して参ります。

消防関係

消防団員の減少に伴い、新たな団員を確保するため、消防団活性化事業として団員の募集を行って参りましたが、漁業協同組合、商工会、郵便局、東京理科大学、役場からの事業所団員十名と女性団員十三名の入団者があり、七月二十一日、消防本部において入団式を行いました。

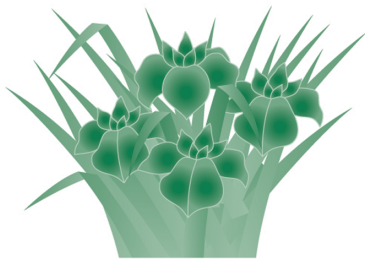
現在の消防団員数は百二十六名ですが、今後とも団員の募集を図り組織強化に努めて参ります。

また、七月二十九日、町民への防火意識の高揚と応急処置等の普及を図るため、消防本部前で、「おしゃまんべ消防フェス二〇二二」を開催し、消防車や救急車等の体験乗車、



煙からの避難、消火器・AEDの取扱い等を多くの方々が体験されました。

今後も、防火や救急講習会等の催しを実施し、広く町民に防火と救急への意識の高揚を図って参ります。



入札結果 (9月7日・14日入札分)

事業名称	契約業者	契約金額 (税込・円)	予定価格 (税込・円)	落札率 (%)	参加 業者数	工期 (納期)
長万部町立国縫小学校屋内体育館耐震診断業務委託	日本都市設計株式会社	2,557,800	2,625,000	97.44%	10社	25年3月15日
長万部町福祉センター耐震診断業務委託	株式会社 北匠建築設計事務所	4,179,000	4,452,000	93.87%	10社	25年3月15日
長万部町ファミリースポーツセンター耐震診断業務委託	日本データーサービス株式会社	3,927,800	4,200,000	93.52%	10社	25年3月15日
長万部町青少年会館耐震診断業務委託	山田総合設計株式会社	1,627,500	1,753,500	92.81%	10社	25年3月15日
静狩地区2号水管橋補修工事	有限会社 新開配管工業	3,412,500	3,717,000	91.81%	8社	24年12月21日
函水橋修繕工事	株式会社 山本組	14,364,000	14,836,500	96.82%	7社	24年12月28日
役場庁舎・健康センター清掃警備及び管理委託業務	太平ビルサービス株式会社札幌支店	20,575,800	21,533,400	95.55%	3社	26年9月30日
長万部小学校、長万部中学校機械警備委託業務	太平ビルサービス株式会社札幌支店	2,079,000	5,121,900	40.59%	2社	27年9月30日
長万部町民センター、平和祈念館、植木蒼悦記念館防犯機械警備委託業務	セコム株式会社	1,474,200	2,891,700	50.98%	2社	27年9月30日
長万部町津波ハザードマップ作成業務委託	株式会社 ハイデックス和島	2,535,750	3,496,500	72.52%	6社	25年3月29日